

# 宮崎県東臼杵郡椎葉村方言のアスペクト

村上 敬一

## I. はじめに

(1) 調査対象地：椎葉村は、宮崎市から北西へ約 130kmの宮崎県中西部に位置し、西を熊本県に接する、九州山地の脊梁に分け入った農林業主体の村である。兼業を含め、約 8 割の人が農林業に従事している。面積537.29㎢、世帯数1389戸、人口4251人。

椎葉村は四方を峻険な山稜に分断され、集落も分散しており、ごく最近まで交通が容易ではなかったところから「日本のチベット」と呼ばれる。また、柳田国男の処女出版である『後狩詞記（のちのかりことばのき）』が、椎葉村の生活・風俗を記録したものであることから、「民俗学発祥の地」としても名高い。

椎葉村方言は、豊日方言のうちの日向方言に属する。伝統的な方言語彙の豊かさは出色であり、特有の言語事象も色濃く保たれている。また、封建時代には肥後・相良藩の統治下であり、古くから肥筑方言域の熊本県球磨郡・人吉市との交通路がひらけていたところでもある。そのため、球磨郡・人吉市と物流・経済・教育・婚姻などで社会的に密接な関係にあり、肥筑方言（特に熊本県南東部の球磨・人吉方言）に特徴的な言語事象も多くみうけられる。

(2) 調査年月日時：1994年3月12日午後1時～3月13日午後5時

(3) 話者：甲斐光義 昭和2年6月5日生 男（68歳）林業  
椎葉広治 昭和6年11月25日生 男（64歳）林業  
椎葉サクラ 昭和5年8月8日生 女（65歳）林業  
那須初子 昭和30年5月17日生 女（38歳）公務員（敬称略）

\* 甲斐氏と椎葉サクラ氏は兄妹の関係にある。また、那須氏と椎葉氏は親子の関係にある。

(4) 調査者：村上敬一

調査場所：椎葉広治氏宅

(5) 調査方法・調査状況：調査票に従った面接調査を四人同時に行った。

(6) 表記方法：回答は三人の老年層を中心に、中年層の回答を交えながら、できるだけ世代差と性差を記述することに努めた。文末詞等は必須のものだけを記述しそれ以外は捨象した。また、筆者の記述には頭に\*を付し、話者の内省は（ ）にくくった。アクセントは上昇下降を「↑ ↓」で示す。

## II. 調査結果

1. (昔は)よく行ったものだね。 ①ヨー「イ」ーキヨッタ／

②「ヨ」ーイキヨッタモノジャ「ワー

\*①は中・高年男女、②は高年層女性。

2. (あごころは)おもしろかったなあ。 ①オモシロカリヨッタ「ワ」オ／

- ②オモシロカッタ「バ」イ  
\*①は中・高年層、②は中年層まで。
3. (もうちょっとで) 落ちるところだった。  
①トノゲ「ヨ」ーデシタ／②ト「ノゲルトコ」ジャッタ／③ツコ「キュー」ーデシタ  
\*「落ちる」は「トノゲル」。③は球磨・人吉方言の「ツコケル」が音変化したものと考えられる。
4. (今にも) 落ちそうだよ。 ①トノゲル「ガ」／②トノゲ「ソ」ージャ「ワー」  
③ウ「シテカカ」トル  
\*①は中・高年男女、②は女性。③は「落ちる」の代わりに「ウシテル(失してる)」を用いた例で、球磨・人吉方言的。
5. (財布を) 落として ①オ「テ」ーテ／②ウ「シテテ
6. 困っている ①コ「マ」ッ「チョル」／②△コ「マ」トル／  
③「チャ」ンテシ「モ」ートル  
\*「チョル」「ヨル」の使い分けは無意識に行われているようだ。「困る」は「チャンテスル」ともいう。
7. (一本の蠟燭が今にも) 消えそうだよ ①キエ「ソ」ーニシ「チョル」  
②キエ「ソ」ージャ「ワー」／③キユル「ゴ」タル  
\*①は中・高年男女、②は女性。③は球磨・人吉方言的。
8. (今) 消えようとする ①キエ「ヨ」ーデスル／②キエ「ヨ」ーデシヨル  
(話者によれば、①のほうが優勢とのこと。)
9. (完全に) 消えた(瞬間) キエテシ「モ」ー「ワ」オ  
\*瞬間性を強調するために、文末助詞の「ワオ」は必須。
10. (すでに) 消えていたよ ①キ「エ」「チョ」ッタ／②キエテシ「モ」ー「チョ」ッタ／  
③「シ」ンノヤ「ミ」ジャッタ／④「ヒ」ノチー「ラ」ンジャッタ  
\*③の「シン」は「芯」。①②は中・高年層、③④は高年層。
11. (何本もの蠟燭が順に) 消え始めた ①キエ「デ」ー「タ」／②キエ「ジャ」ー「タ」  
\*①は高年層に優勢、②は中・高年層ともにみられるが、高年層では①が優勢。
12. (何本もの蠟燭が次々) 消えていくなあ ①キ「エ」「チョル」「ワ」オ／  
②キ「エ」「チョル」「ワー」／③キ「エ」ヨル  
\*①は中・高年男女、②は女性。「チョル」「ヨル」は併用だが、ここでは「チョル」がやや優勢か。
13. (何本もの蠟燭が順に) 消えているよ ①カッター「シュ」ー「キエ」ヨル「バ」ー  
②キエテイキ「ヨ」ル  
\*「カッターシュー」は「次々」の意。
14. (何本もの蠟燭が全部) 消えているよ ①キエ「チョ」ル「ワ」イ／

②キエ「ト」ル

15. (何本もの蠟燭の火を次々) 消しているよ ①ケシテ「イ」キヨル/  
②「キャー」テイキヨル/③ケ「シヨ」ル  
\*②の「キャーテ」は球磨・人吉方言の「キヤシテ」が音変化したもののか。
16. (もう全部) 消しているか ①「キヤシ」チョット「カ」/②キ「ヤーテオ」ル「カ」  
\*①は中年層、②は高年層。
17. (今にも桜が) 散りそうだ ①チリソーナ「フ」ージャー/②チルゴ「タ」ル  
\*②は球磨・人吉方言的。
18. (ちらほら) 散り始めた ①チリ「デア」ー「タ」/②チリ「ジャ」ー「タ」/  
③チ「リダ」シ「タ」  
\*①は高年層に優勢、②は中・高年層ともにみられるが、高年層では①が優勢。  
③は中年層以下。
19. (今現に) 散っている ①「チッ」チヨル/②チリ「オ」ル  
\*②は球磨・人吉方言の「チリヨル」の音変化か。
20. (桜の花がすっかり) 散っている チッテシ「モ」ー「チヨ」ル
21. (地面一面に) 散っている ①「チッ」チヨル/②チッテシ「モ」ー「ト」ル
22. (今にも雨が) 降りそうだ ①フ「ルゴト」アル/②フ「ロー」デ「シ」ヨル/  
③テンノソ「コ」ノホ「グ」デシ「ヨ」ル  
\*②は球磨・人吉方言的、③は比喩表現。
23. (あの時は今にも雨が) 降りそうだったなあ ①フ「ル」ゴッタ「タ」「ナ」オ/  
②フ「ロー」ゴッ「タ」「タ」
24. (あの時はもう実際に雨が) 降っていたよ ①フリヨッタ「バ」イ/  
②「フット」ッタ「ゾ」/③フッチョッタ「ワ」イ  
\*①②③は中・高年層に併用。
25. (あの時はやがて夜が) 明けようとしていたよ  
①アケ「ヨ」ー「デシ」ヨッタ/②アケ「ヨ」ー「ゴ」タ「タ」  
\*①②は中・高年層に併用。
26. (来年の今ごろは家を) 建てている(最中) ①タテ「ヨ」ル/②タテ「オ」ル  
\*①は球磨・人吉方言的。
27. (来年の今ごろは家をすでに) 建てている ①タ「テ」チヨル/②タ「ッ」ト「ル」  
\*①②は中・高年層で併用。
28. (あの家はよく) 磨いてある ①ミ「ゲ」ー「ト」ル/②ミ「ガイ」テアル  
\*①の [gai] → [ge:] は豊日方言的。
29. (隣の犬が) 鳴いている ①ナイ「チヨ」ル/②ナ「キヨ」ル/③ナ「キヨ」ル/  
④ナ「イ」トル

\*①②④は中・高年層、③は高年層。

30. (隣の子が)泣いている ①ギ「メイ」 Chol / ②ギ「メキヨ」ル /  
③ギメキ「ヨ」ル / ④「ネ」ートル / ⑤「ニャ」ートル

\*「泣く」は「ギメク」。④の [nai] → [ne:] は豊日方言的。

⑤の [nai] → [nja:] は肥筑方言的。

31. (こどもたちが)喧嘩している ①ケンカシ「チョ」ール / ②ケンカ「シ」オル  
\*①②は高年層。

32. (家に)いるかなあ ①オル「ヤー」 / ②オル「トー」 / ③オル「ケー」 /  
④オル「ド」ーカイ / ⑤オッ「ド」ーカイ

33. (〇〇さん)いるか ①オ「ルカオ」 / ②オ「ルカイ」

\*①は誰が居るか分からないとき、または相手が目上のとき。②は相手が友だち、または目下のとき。

34. (ああ)いるよ ①オ「ルバオ」 / ②オル「ゾ」

\*①は相手が目上のとき。②は相手が友だち、目下のとき。

35. (そういう人も)いるよ ①オ「ンナル」 / ②「オル」

\*①は相手が目上のとき。②は相手が友だち、目下のとき。

36. (あなたは今何を)していたか ①シ「トッタ」ナ / ②シ「トッタ」カ

\*①は相手が目上のとき。②は相手が友だち、目下のとき。

37. (私は今金魚を)見ていたよ ①「ミ」ヨッタ / ②ミ「ト」ッタ

\*①②は中高年層で併用。

38. (金魚が今にも)死にそうだ ①シ「ノ」ーデシヨル / ②シニカカッ「ト」ル

\*①②は中・高年層。

39. (やっぱり金魚は)死んでいたよ ①シ「ンドッタ」

40. 読み始めていた

①ヨ「モ」ーテシヨッタ / ②ヨミ「ジャ」ートッタ / ③ヨミカケ「ト」ッタ /

④ヨミカケ「オ」ッタ

41. 読み始めたところへ(～た)

①ヨミ「ジャ」ータトコレ / ②ヨミ「カケ」タトコレ

\*①②は中・高年層。

42. 着くと同時に～した

①ツク「ト」イッドキ / ②ツク「ト」イッ「ペン」ニ

\*①は高年層、②は中年層。

43. 着くと同時に～してくれ

①チーチカリ「スグ」 / ②「チ」ータラジ「キ」ニ

\*①の「チーチ」②の「チータラ」はそれぞれ「着いて」「着いたら」の音変化。

44. 鳴りつづけている  
 ①ナ「リップナシ ②ナ「リツツケ」ヨル ③ナリ「ド」ーシナッ「ト」ル／  
 ④ナ「リズメ」ジャ  
 \*①③④は中・高年層、②は青年層。
45. (先生は今何を) しているか  
 ①シ「テナサル」カ／②シ「テナル」カ／③シ「トンナル」カ  
 \*敬意の高さは①②③の順。
46. 好きだ ①「シ」ートル／②「シーター／③ス「キ」ダ  
 \*①②は高年層、③は中年層以下。
47. 見られているのも  
 ①ミ「ラレ」ヨットモシラデナ(シラジー)／  
 ②ミ「ラレ」トットモシラデナ(シラジー)  
 \*①②は中・高年層で併用。
48. (今、運動会が) ある  
 ①(ガ)アリ「オ」ル／②(ガ)アリ「ヨ」ル  
 (格助詞「の」は言わないとのこと。)  
 \*①は高年層、②は中年層以下。
49. (降らなくて) よかったよ  
 ①フラ「ジ」ーヨカッタ／②オープリセ「ジ」ーヨカッタ  
 \*①②は高年層。
50. (先生がこっちへ) 来つつある ①キ「ヨ」ンナル／②オ「イデヨル  
 (話者の内省によると、①②の敬意の高さはほぼ同じ。)
51. (犬がこっちへ) 来つつある ①キ「オ」ル／②キ「ヨ」ル  
 \*①は高年層、②は中年層以下。
52. 似ている ニ「ト」ル  
 \*全世代で盛ん。
53. (一週間も前から遊びに) 来ている  
 ①アス「ビ」ーキ「ト」ル／②アソビキ「ト」ル  
 \*①は高年層、②は中年層以下。
54. (昔から) 苦勞していない クローシト「ラ」ン  
 \*全世代で盛ん。
55. (今はあまり) 苦勞しないでいる クローシト「ラ」ン  
 \*全世代で盛ん。
56. ～は売っているが、～は売っていない  
 ア「ノミセワ」 タバコ「ワ」 ウットルドモ イリョーヒン「ハ」

ウット「ラン

(話者の内省によると、「チョル」「オル」を使用することもあるとのこと。)

57. (昔からタバコを) 売っている

ア「ノミセワ」 ム「カシカラ」 タバコヲ ウツ「ト」ル

58. (今、大売出しで衣料品を) 売っている ウツ「ト」ル

\*全世代で盛ん。

59. (もう三回) 来ている キ「ト」ル

\*全世代で盛ん。

60. (いつも) 来ている キ「ト」ル

\*全世代で盛ん。

61. (昔はいつも) 来ていた キ「ト」ッタ

\*全世代で盛ん。

62. (前に一度) 行っている イツ「ト」ル

\*全世代で盛ん。

63. 先に行っておいてほしい ①イ「トキメセ」/②イ「ト」ッテクレ

\*①は相手が目上のとき、②は相手が友だち、または目下のとき。

64. 待っていなさい ①マツ「ケ」/②マツ「トキナサイ

\*①は命令調の言い方。②は丁寧な言い方。

65. (外に) 待たせてあるよ マタセテ「ウエ」ートル

66. 食べておいておくれ

①ク「ト」ケ/②ク「ト」ッテクレ③ク「トキナサイ

(①②は目下の相手に言う言い方。③はよほど丁寧な言い方で、ほとんど使うことはない、と話者は内省している。)

67. (昔と) 違っている チ「ゴ」ートル

\*全世代で盛ん。

68. (昔は今のと) 違っていた チ「ゴ」ートル

\*全世代で盛ん。

69. (毎日梅干しを) 食べている ク「ト」ル

\*全世代で盛ん。

70. (毎朝) している シ「ト」ル

\*全世代で盛ん。

71. 気をつけていて(～した) キ「オツケ」トッテ

\*全世代で盛ん。

72. 行ったまま～ イッタ「ナ」リ

\*全世代で盛ん。

73. ～しながら シカツ「ゴー  
\*高年層。  
(語の由来は、話者には分からないとのこと。)
74. ～の途中で～する イキガケ「ニ  
\*全世代で盛ん。
75. ～の途中で～した ①イクミチ「デ／②イキオッタ「リヤー  
\*①は中年層、②は高年層。
76. ～の途中で止めて～した ヨミサシ「デ  
\*全世代で盛ん。
77. ～したばかりだ ①ヨー「デ」シモータバ「カリ／②ヨー「デ」シモータト「コ  
\*①は中年層、②は高年層。
78. 無くなっている ノー「ナッ」トル  
\*全世代で盛ん。「無くなる」は「ノーナル」。
79. 無くなるぞ ①ノー「ナ」ル「ゾ(ヨ)／②ノー「ナッ」テシマウ「ゾ(ヨ)  
\*①③は中年層、②は高年層、(ヨ)は女性。
80. 掛けておいた帽子 カ「ケトツタ  
\*全世代で盛ん。
81. 並んだ本 ①ナ「ロ」ードル／②ナ「ロ」ドル  
\*全世代で盛ん。長音の有無は意味に無関係。
82. 並べた本 ①ナ「ロ」ードル／②ナ「ロ」ドル  
\*全世代で盛ん。長音の有無は意味に無関係。
83. ～しておこうか ①ヨード「コ」ーカ／②ヨードオ「コ」ーカ／  
③ヨンド「コ」ーカ  
\*①②は中・高年層、③は中年層以下。
84. やってあるか ①ヤッテシ「モ」ータカ／②ヤッテシ「モ」ートルカ／  
\*全世代で盛ん。
85. 壊している ウチク「ウェ」ートル  
(「ウチ」は強調の接頭語。)
86. 壊れている ウチコ「エ」ートル  
(「ウチ」は強調の接頭語。)
87. 壊されている ウチ「クヤサレ」トル  
(「ウチ」は強調の接頭語。)
88. のけてある ①ノ「ケ」トル／②カク「モ」ートル  
\*②は「かくまう」から。高年層で使用。
89. 書き終わった ①キャーテシ「モ」ータ／②ケーテシ「モ」ータ

- \*①の [kai] → [kja:] は肥筑方言的。②の [kai] → [ke:] は豊日方言的。  
①②とも中・高年層において盛ん。
90. 書いてしまいなさい ①キャーテシ「マエ／②ケーテシ「マエ  
\*①の [kai] → [kja:] は肥筑方言的。②の [kai] → [ke:] は豊日方言的。  
①②とも中・高年層において盛ん。
91. 書いてしまう ①キャーテシ「モーター／②ケーテシ「モーター  
\*①の [kai] → [kja:] は肥筑方言的。②の [kai] → [ke:] は豊日方言的。  
①②とも中・高年層において盛ん。
92. 書いてみた  
①キャーテミタ／②ケーテミタ  
\*①の [kai] → [kja:] は肥筑方言的。②の [kai] → [ke:] は豊日方言的。  
①②とも中・高年層において盛ん。
93. (孫は今)入院している ニューインシ「トル  
\*全世代で盛ん。
94. (弟も今)入院しているそうだ ニューインシ「トルゴ「タル  
\*全世代で盛ん。
95. (きっと)よくなるよ ①ジ「キーヨー「ナル／②ジ「キーユー「ナル  
\*①は中年層以下、②は「よい」が「ユー」に変化したもので、高年層に盛ん。
96. (だんだん)よくなるよ ①ヨー「ナッテクル／②ユー「ナッテクル  
\*①は中年層以下、②は「よい」が「ユー」に音変化したもので、高年層に盛ん。
97. 歳とるとね ト「シトルト (「トシトッテイクト」「トシトッテクルト」は言わない。)
98. なおらなくなるよ ナ「オランゴトルナル  
\*全世代で盛ん。
99. (1) (犬が)怪我したので ケガシタ「モン」ジャケー  
\*全世代で盛ん。  
(2) (こどもが)怪我したので ケガシタ「モン」ジャケー  
\*全世代で盛ん。  
(3) (お父さんが)怪我したので ①ケガシ「オッ」タ「ケー／  
②ケガシ「ナ」ッタ「ケー／③ケガシナ「サ」ッタ「ケー  
\*①は身内への尊敬、②③は先輩・目上の人への尊敬で、③の方が敬意が高い。  
(4) (雨が)降ってきたので フッテキ「オ」ッタケー  
\*全世代で盛ん。
100. (1)降りつつある ①フリ「デア」ーター／②フリ「ジャ」ーター  
B「今、ぼつぼつ降り始めた」状態

(2) 増えつつある ①フ「エ」ヨル／②フ「エ」 Chol／③フ「エ」トル

B「貯金が少しずつ増えようとしている」状態

(3) 増やしつつある フ「ヤシ」トル

C「すでに現にかなり増やしている最中」

### Ⅲ. 総括(まとめ)

#### 1. 共通語と比較しての当該方言アスペクトの特色

調査対象地域である椎葉村のアスペクト表現形式においては、「～テオル系」(～トル)と「～オル系」(～ヨル、～Chol、～オル)の形式が観察される。

その中で、進行態を表す「～ヨル」「～Chol」「～オル」「～トル」が、自由に併用されている。一方、結果態を表す言い方は「～Chol」「～トル」が中心である。

椎葉村方言のアスペクト表現は、共通語のそれと比較して、進行態と結果態の表現形式が豊富である。しかし、それらを厳密に区別してはいないようである。

また、「～アル」も結果態(処置)を表す言い方においてアスペクト形成にはたらいっている。

語形に注目すると、「～トル」が存続態を中心にもっとも盛んに観察される。そして、ほかの言い方のない単独回答の多くも、この「～トル」である。熊本などでは「～トル」は結果態を表す言い方であるが、椎葉村では進行態と結果態の両方に「～トル」が観察される。

#### 2. その他の特記事項

冒頭にも触れたように、椎葉村はその地理的環境から、長い間周辺地域との交流が難しかったところであったので、特有の言語事象も色濃く保たれている。また、その一方で、社会交流圏の拡大、交通・通信網の発達、教育水準の上昇など、社会変化の諸相が椎葉村方言にも徐々に影響してきているのも事実である。肥筑方言的な表現と豊日方言的な表現が併存するケースは、その一つの例であろう。

また、世代差の観点からは、高年層と中年層で異なる事象を用いる場合が多いことが指摘される。さらに、若年層においては、マスメディアの影響で共通語・標準語的な言い方もより盛んではないかと想像される。

椎葉村方言のアスペクト表現が豊富であることはさきに述べた。これが今後、周辺方言や共通語の影響をどのようにうけるであろうか(具体的には、進行態の言い方において「～トル」が用いられなくなるかどうか、など)。将来にわたって、非常に興味のあるテーマである。

(むらかみ けいいち 広島大学大学院)